

4回生 必修科目「現代の国語」授業のシラバス

教科名	国語	科目名	現代の国語	単位数	2	単位
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
教科書	現代の国語（大修館書店）	副教材	現代の国語学習ノート（大修館書店） 常用国語便覧（浜島書店） 新現代文単語（いいすな書店）			

1 学習の目標

- （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の方法

- （１）予習について ○シラバスを用いて学習内容を確認し、次のことを予習する。
 - ①新しい単元に入る時は本文を全文読む。
 - ②語句の意味調べをする。（教科書下段の＊印を中心にわからないもの全て調べる。）
- （２）授業について
 - ①「話すこと・聞くこと」の領域に関する学びの場合、グループワークにより思考を深め、整理された思考をスピーチや発表により言語化する。また、他者の意見や思考を聞きとり、活動を通して思考を深める。
 - ②「書くこと」の領域に関する学びの場合、適切な資料を用いて、紹介文、説明文、レポートなどを作成することで、実用文を作成する力を養う。
 - ③「読むこと」の領域に関する学びの場合、本文の要旨を適切に読み取りまとめるとともに、本文における抽象的な表現を社会や世界の出来事と結びつけることで具体化する力を養う。
- （３）復習について
 - ①単元終了後に、本文のテーマ、主題を一文で書く。
 - ②単元終了後に考えたこと、感じたことなどを書く。

3 評価について

（１）評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語彙・漢字などを理解し、知識を身につけている。目的に応じて近代以降の文章を的確に読み取ることができる。 国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。
②思考・判断・表現	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。また、筋道を立てて適切に文章を書く。
③主体的に学習に取り組む態度	国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。問いに向かう姿勢を振り返り、自分で読み解き・表現することを大切にしようとしている。

（２）評価の方法（以下観点①～③は「（１）評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期 考 査	単元 テ ス ト	小 テ ス ト	実技 実 習	発言 発 表	作品	レポ ー ト	ノ ー ト	ワー ク シ ー ト	グル ー プ 活 動	スピ ー チ	文章 作 成	現代文 単 語	シラバス 振り返り
①知識・技能		◎										○	○	◎	
②思考・判断・表現		◎				○					○	◎	◎		
③主体的に学習に取り組む態度											○				◎

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されことなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	資質・能力
	A. スピーチ (12単位時間)	テーマに沿ったスピーチの作成と発表 (各学期1人1回ずつ)	①適切な語句や修辞を用いることができる。(1)イエカ ①論拠に基づいた主張を述べることができる。(2)ア ②目的や場に応じ、機器や道具を用いて効果的に意見を伝えることができる。(1)アエ		ABCD
	B. 表現トレーニング2 (8単位時間)	テーマに沿った批評、意見文	①適切な語句を用いることができ、適切な構成で文を作成することができる。(1)アウオ ①実社会と結びついた意見を持ち、論拠に基づいた主張を述べることができる。(2)ア、(3)ア ②読み手の理解が得られるよう、論理の展開を工夫し論拠や具体例を挙げることができる。(2)イウ		ABCD
	C. 現代文用語	現代文用語を学び、活用できるようになる。	①言葉が認識や思考を支えていることを理解し、適切に使用することができる。(1)アウ		ACD
	1. 工夫して話す (話1単位時間)	6.「魅力的に伝える」 1. 目的や場に応じ、構成や展開を工夫する。 2. 表現のしかたを工夫して話す。	①適切な語句や修辞を用いることができる。(1)イエカ ①情報の妥当性を吟味し、論拠に基づいた主張を述べることができる。(2)アエ ②効果的に伝わるよう資料や機器を用い、聞き手の反応を観察しながら発表することができる。(1)イウ		AEF
	2. 発想を広げる (話1単位時間)	4.「意見を示す」 1. ブレインストーミングにより多くのアイデアを出す。 2. アイデアを整理する。	①個々の意見を抽象化するなどしてまとめることができる。(2)アイ ②様々な視点の情報を収集し、話し合っ て結論を出すことができる。(1)アオ		ACDEF H
	3. 意見を書く (書3単位時間)	4.「意見を示す」 1. 主張と根拠を明確に書く。 2. 反対意見をひまえて自分の意見を補強する。 3. 文章の構成を考える。	①適切な語句を用いることができる。(1)アウ ①適切に引用・紹介された論拠に基づいた主張を述べる。(2)アオ ②得られた情報をまとめ、適切に伝えることができる。(2)アエ		ABCD
	4. 文章の要点をつかむ (読5単位時間)	2.「要点をつかむ」 1. 具体と抽象を読み取る。 2. 対比関係を読み取る	①論拠と結論の関係を読み取ることができる。(1)ア、(2)アウ ②文章構成から論理の関係を読み取ることができる。(3)アイ		ABCD
	5. 伝わるように話す (話2単位時間)	3.「的確に伝える」 1. 話し言葉の特徴を考える。 2. 情報のまとまりや順序を考える。	①適切な語句や修辞を用いることができる。(1)イエカ ①適切に引用・紹介された論拠に基づいた主張を述べる。(2)アオ ②効果的に伝わるよう資料や機器を用い、聞き手の反応を観察しながら発表することができる。(1)イウオ		ABCDE F
	6. わかりやすく書く (書3単位時間)	3.「的確に伝える」 1. 相手や目的に応じて情報を整理する。 2. わかりやすく示す。	①適切な語句を用いることができ、情報を整理して説明することができる。(1)アウオ、(2)イ ②得られた情報をまとめ、適切に伝えることができる。(2)アエ		ABCDE F
	7. 魅力的な紹介文を書く (書3単位時間)	6.「魅力的に伝える」 1. 魅力的な表現を工夫する。 2. 本の紹介文を書く。	①適切な語句や修辞を用いることができる。(1)ウカ ①情報の妥当性を吟味し、論拠に基づいた主張を述べる。(2)エ、(3)ア ②得られた情報をまとめ、適切に伝えることができる。(2)アエ		ABCDE FI
	8. 文章の論理をとらえる (読5単位時間)	5.「論理をとらえる」 1. 主張と根拠の関係を読み取る。 2. 換言を読み取る。	①筆者の推論の仕方を読み取り、論拠と結論の関係を読み取ることができる。(1)アオ、(2)アウ ②文章構成から論理の関係を読み取ることができる。(3)アイ		ABCDE F
	9. 資料を用いて発表する (話2単位時間)	10.「他者を動かす」 1. 目的と内容に踏まえ、情報を取捨するなど効果的な構成を考える。 2. 発表する。	①情報の妥当性を吟味し、適切に引用された論拠に基づいた主張を述べる。(2)アイエオ ②効果的に伝わるよう資料や機器を用い、聞き手の反応を観察しながら発表することができる。(1)イウオ		ABCDE FG

10. 資料と文章の関係を読む (読5単位時間)	7. 「資料を駆使する」 1. 資料と文章の関係を読み取る。	①論拠と結論の関係を読み取ることができる。(1)ア、(2)ウエ ②文章構成から論理の関係を読み取ることができる。(3)アイ		ABCDE F
11. 統計資料をもとに意見を書く (書3単位時間)	7. 「資料を駆使する」 1. 統計資料を適切に読み取る。 2. 統計資料を根拠として自分の主張を述べる。	①適切な語句を用いることができる。(1)ウ ①情報の妥当性を吟味し、適切に引用された論拠に基づいた主張を述べることができる。(2)イウエオ ②読み手の理解が得られるよう、論理の展開を工夫し論拠や具体例を挙げることができる。(2)イウ		ABCDE F
12. レポートを書く (書4単位時間)	12. 「考えを発信する」 1. 問いを立て、解決策を考える。 2. 調べたことを根拠として用いる。	①適切な語句を用いることができる。(1)アウ ①情報の妥当性を吟味し、論拠に基づいた主張を述べることができる。(2)エオ、(3)ア ②得られた情報をまとめ、適切に伝えることができる。(2)アエ		ABCDE F
13. 目的に沿った質問をする (話2単位時間)	8. 「他者と交流する」 1. 質問の目的を明確にする。 2. 目的に沿った質問を考える。	①適切な語句や修辞を用いることができ、情報を整理することができる。(1)イオ、(2)イ ②目的や場に応じ、機器や道具を用いて効果的に意見を伝えることができる。(1)アエオ		ABCDE FGM
14. 状況に応じた通信文を書く (書3単位時間)	8. 「他者と交流する」 1. 通信文の基本的なルールを知る。 2. 相手や目的に応じた通信文を書く。	①適切な語句を用いることができる。(1)ウ ②得られた情報をまとめ、適切に伝えることができる。(2)アエ		ABCDE F
15. 説得力のある資料をつくる (書3単位時間)	10. 「他者を動かす」 1. 提案を検討する際に必要な要素を考える。 2. 効果的な提示のしかたを工夫する。	①適切な語句を用いることができる。(1)ウ ①情報の妥当性を吟味し、論拠に基づいた主張を述べることができる。(2)イオ、(3)ア ②読み手の理解が得られるよう、論理の展開を工夫し論拠や具体例を挙げることができる。(2)イウエ		ABCDE FK
16. 文章を比較して読む (読5単位時間)	9. 「情報を比較する」 1. 文章を比較し共通点を読み取る。 2. 文章を比較し相違点を読み取る。	①文章の共通点と相違点を読み取ることができる。(1)ア、(2)ウエ ②それぞれの筆者の立場や考え方から、共通点と相違点が生じる理由を考えることができる。(3)アイ		ABCDE F